



どろんどろんばあさんでも たのしみばあさんでも

ある日、ふと空を見上げると、雲一つない
青空が広がっていました。

見ているだけで清々しい気持ちになり、な
ぜか一日が楽しく思えてなりませんでした。
親神様は人間に心の自由をお与え下さり、
教祖は「心二つが我がの理」とお教え下さい
ました。

自由な心の使い方によって、善きことも
悪しきことも現れてきます。
なんぎするものも、ろから
わがみうらみであるほどに

(みかくらうた十下り目七ツ)

教祖は、悪しき心遣いを「ほこり」にたとえ
られ、おつとめを通して、親神様を己が胸
のほこりを払う筈として、心を入れ替え、
心澄み切ることの大切さをお教え下さいま
した。

私たちは日日心のほこりを払い、雲一つな
い晴天の空のように澄み切った心になるよ
う努めさせて頂きたいものです。
心さいすきやかすんだ事ならば
どんな事でもたのしみばかり

(おふでさき第十四号50)

本島大教会布教部(英)



天理教本島大教会

教祖140年祭